

7 月度 <b>例会</b> 個人 <b>山行報告書</b>		報告者	天野 広	参加 メンバー	全体 CL:方田 B SL:松浦、谷川、中尾、天野、吉田明、岸上、山田明、カルロス、A CL:吉田有、A:SL 北角、沼崎、山口、根芝、小栗、奥谷、石川、他 2 名 (合計 19 名)
		報告日	08/02		
山 域	北アルプス	山行日	14 年 07 月 25 日 (金) ~		
山 名	西穂高岳(2909m)		14 年 07 月 27 日 (日)		
山行目的	北アルプス入門・気象判断		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



07/25 晴れ  
19:30 N1 駐車場発  
24:10 鍋平 P 着  
07/26 快晴  
05:00 起床  
06:00 鍋平 P 発  
06:25 ロープウェイ乗り場着  
07:50 ロープウェイ発  
08:10 ロープウェイ降り場発  
08:40 一本 09:10 一本  
09:20 西穂山荘着  
10:30 ロープワーク講座  
16:30 夕食 19:00 就寝

07/27 霧のち雨  
03:00 起床  
04:55 西穂山荘発  
05:50 独標着一本  
06:50 第 2 峰 引き返し  
07:40 独標一本  
08:55 西穂山荘着  
09:35 西穂山荘発  
10:40 ロープウェイ着  
11:15 ロープウェイ発  
11:45 鍋平 P 着  
ひらゆの森(温泉)経由  
18:45 部屋着



〈山行報告〉日付が変わる頃、先行車が深山荘 P に到着するも満車のため鍋平 P に変更する。駐車場の邪魔にならない場所にテントを設営し、明日の行動を確認し就寝。起床後共同装備を分配しロープウェイ乗場に向かう。到着すると既に 20 人ほどのザックが置いてあったが、始発の 08:15 には乗れそうだ。登山口で給水したが、フォホヨの出水で時間が掛かった。一時間強で西穂山荘に到着。思ったよりテ場が小さいが、先発隊が良い場所を確保してくれていた。幕営後、山田さんなどの指導でロープワーク講座を学び明日に備える。時間があるため少人数にわかれ、明日の偵察に出かけた。良い天気で独標・ピラミッド・西穂山頂まで見渡せ心が躍る。その後まったりとした時間を過ごし新旧部員の親睦を深めた。大矢さん予報により翌日は天候が悪くなるとの事で、AB 両隊共独標を目標とし、B 隊はその先を現地判断する事にした。起床後テントを撤収し(雨が来るため)霧の中を出発する。独標手前までは難なく進んだが直前の登りは結構険しい。独標の頂上で A 隊を待つが「手前で引返す」との連絡が入った。自分が知る限り初めてトランシーバーが活用できた。雨がパラッし霧で視界は悪いが、CL の判断で行ける所まで行く事にした。独標を下ったところに足場が判り辛い場所があり、山田監督の声掛けで注意深く通過する。その後も険しく・濡れて滑りやすい岩稜が続き『落ちたら終わりだな』と思う箇所が何か所もあった。30 分でピラミッドピークを通過。先行パーティの話聞きここで引返すと思っていたが、なんのストレスもなくスル。『これは

山頂まで行けるか!』と心躍った。3 峰辺りで雨が降り出し、2 峰に到着すると雨脚が強くなったため山田監督から「引返すぞ」と号令がかかった。独標の下りではおばさんが降りるのに相当苦労していた。A 隊が引返した事は正解だったかもしれない。山荘に到着し堅い握手で無事を祝った。反省点: ①07/26 に時間があつた事②大矢予報の確認を早くし、07/26 に登頂を目指すべきだったかもしれない。

〈リーダー所見〉  
参加人数も多い中、テント設営、食事など早め早めの行動ができ、計画通りの山行ができたことはよかった。ただし、天候を踏まえ判断が極めて重要であることを痛感した。特に、天候が良かった 26 日に西穂山頂への登頂への変更、27 日の天候悪化に伴う撤退などである。今後の山行においては、最善の判断ができるよう、天候を意識し行動していく。



雨が降り出した西穂山荘前

確認  
(リーダー)  
方  
14/08/\*\*  
田  
作成  
(報告者)  
天  
14/08/02  
野